

特別展 ふるさとの神々

祝祭の空間と美の伝統



初公開 円山応挙 神馬図絵馬(魚住住吉神社蔵)

平成20年

10月18日(土)~12月7日(日)

- ◆休館日: 月曜日(祝休日の場合は開館、翌日休館)
- ◆開館時間: 午前10時~午後5時(入館は午後4時30分まで)
- ◆観覧料: 一般 1,000円(800円)/高校・大学生 700円(550円)
小・中学生(県内) 無料(ココロカード提示)
○県外の小・中学生は500円(270円) ○()は20人以上の団体料金
○障害者及びその介護者、県内の65歳以上の方は半額

■主催: 兵庫県立歴史博物館 兵庫県神社庁 神戸新聞社
■後援: 兵庫県 兵庫県教育委員会 NHK神戸放送局 サンテレビジョン ラジオ関西

 兵庫県立歴史博物館

〒670-0012 姫路市本町68 TEL079-288-9011
ホームページ <http://www.hyogo-c.ed.jp/~rekihaku-bo>



特別展 ふるさとの神々

祝祭の空間と美の伝統

■主催：兵庫県立歴史博物館
兵庫県神社庁 神戸新聞社
■後援：兵庫県 兵庫県教育委員会
NHK 神戸放送局
サンテレビジョン ラジオ関西

瀬戸内から日本海に及ぶ兵庫県は、豊かな自然に恵まれています。それぞれの地域には、鎮守・氏神として親しまれる神々が祀られています。

神祭りの歴史は古く、『風土記』が編纂された頃、地域社会に多くの神々の祀られていたことが記されています。また、10世紀に成立した『延喜式』には諸国に祀られている数多くの神々の名前が書き留められています。

一方、6世紀中期に仏教が伝来すると、神と仏は双方に影響を与え、習合することにより独自の宗教的環境をかたち作りました。そこで繰り広げられる春秋の祭りは、五穀の豊穰や子孫の繁栄を願うなど、私たちの暮らしと深く結びつき、地域社会が一体となるコミュニティの場として重要な役割を果たしています。

また、こうした神と仏の交わりの中でさまざまな神道美術が生み出されました。神の姿を表わした神像や、神社創建の由来を描いた縁起絵巻、平穏を願い奉納された絵馬や武具などが現在も神社に残されており、神をめぐって育まれた豊かな造形の一端を我々に垣間見せてくれます。

本展では神社を中心に継承されてきた有形・無形の文化財を一堂に会し、神々の文化史的意義を総合的に明らかにし、兵庫県の歴史ならびに文化の深層に迫ろうとするものです。



黒漆金銅装神輿(長田神社蔵)重要文化財



釈迦十六善神像(黒野神社蔵)重要文化財



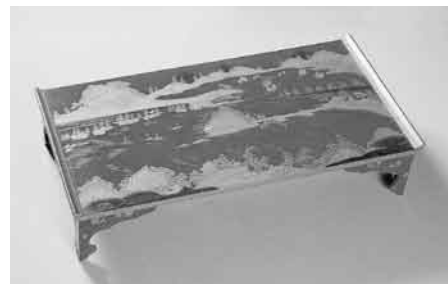
北野天神縁起(津田天満神社蔵)重要文化財



男神坐像(伊弉諾神宮蔵)



女神坐像(伊弉諾神宮蔵)



朱漆金蒔絵文台(兵主神社蔵)丹波市指定文化財

関連イベント

兵庫県民俗芸能大会

●場 所：姫路市民会館大ホール
〒670-0015 姫路市総社本町112
TEL.079-284-2800

●日 時：平成20年11月3日(月・祝)
●開 演：12時30分(終演16時30分)
●入 場 料：無料
*入場には、本展のチケットが必要です。

●出演団体：

神戸市／長田神社(古式追儺式)
加東市／住吉神社(秋津百石踊)
篠山市／波々伯部神社(デコノボウ)
養父市／二宮神社(大杉ざんごこ踊)
南あわじ市／亀岡八幡神社(阿万の風流踊)
市川町／八幡神社(甘地の獅子舞)
新温泉町／宇都野神社(麒麟獅子舞)

講演会

「山のカミ・里のカミ」

●講 師：神崎宣武氏(旅の文化研究所所長)
●日 時：平成20年10月19日(日)
14時～15時30分
●場 所：兵庫県立歴史博物館 ホール
●入 場 料：無料(先着順)

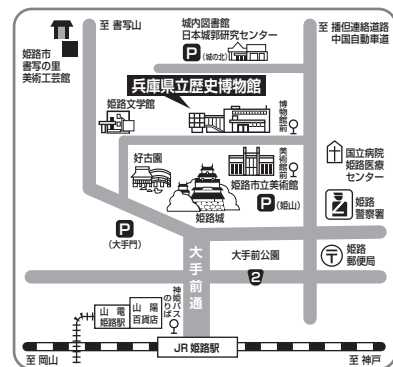
れきはく アカデミー

●場 所：兵庫県立歴史博物館 ホール(3回とも)
●入 場 料：無料(先着順)

平成20年10月26日(日) 14時～15時30分
「兵庫の神々の彫刻」神戸佳文(当館学芸課長)

平成20年11月9日(日) 14時～15時30分
「兵庫の神道絵画」橋村愛子(当館学芸員)

平成20年11月30日(日) 14時～15時30分
「兵庫の神仏習合美術」今野加奈子(当館学芸員)



【交通】

●JR、山陽電車姫路駅から、神姫バス医療センター経由系統で約8分
「姫山公園北・博物館前」下車
●城周辺観光ループバスで約8分
「博物館前」下車

【駐車場】

●有料駐車場をご利用下さい。
※大型バスでこま館の場合は、事前に博物館にご連絡下さい。

兵庫県立歴史博物館

〒670-0012 姫路市本町68 TEL.079-288-9011
ホームページ <http://www.hyogo-c.ed.jp/~rekihaku-bo>